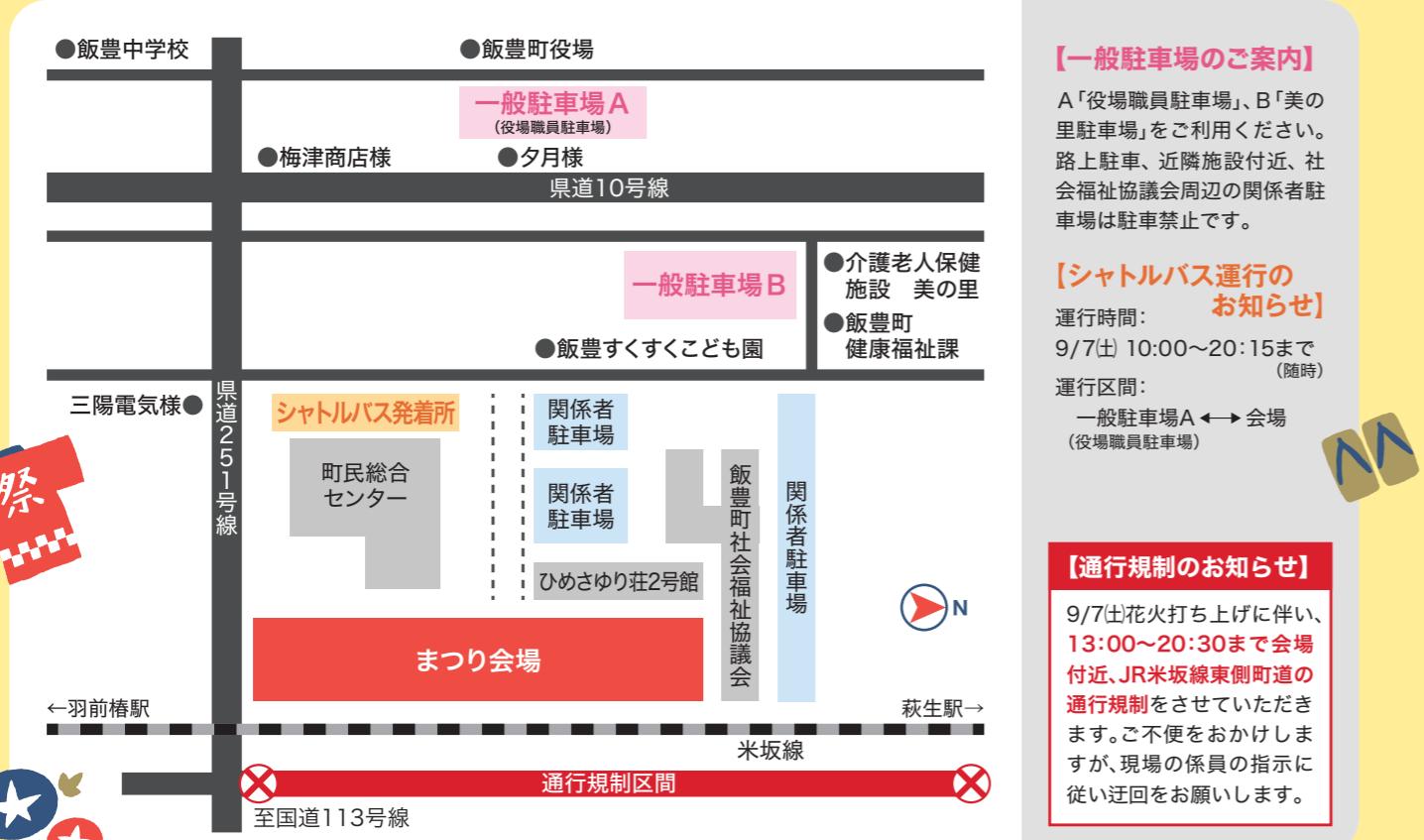


会場案内図



会場周辺図



●会場内、駐車場内での事故・盗難等については一切責任を負いません。 ●台風や豪雨等の天候によっては中止することがあります。

めざみの里まつり

2024

とき: 令和6年9月7日(土) 10:00~20:00
ところ: 飯豊町市民総合センター

獅子の共演



めざみの里まつり2024 TIME SCHEDULE

日程表

	ステージ	屋外	屋内
10:00	10:00-10:15 ちびっこ獅子(飯豊すくすくこども園)	10:00-12:00 木工教室	10:00-12:00 消防団コーナー
11:00	11:00-12:00 山形殺陣乃会 「妖怪 烏天狗の逆襲」	12:00-12:30 魚つかみ取り	10:00-16:00 イベントスタッフコーナー ● 消防車両 ● 警察車両 ● 自衛隊車両
12:00			はたらく車大集合
13:00	13:00-13:30 獅子舞共演会セレモニー		10:00-15:00 健康・食改コーナー・各種展示ほか
14:00	13:30-17:00 獅子舞共演会	13:30-14:15 ①涌沼神社(椿)	12:00-12:30 魚つかみ取り
15:00	14:25-15:10 ②八幡神社(手ノ子)	14:25-15:10 ②八幡神社(手ノ子)	10:00-12:00 消防団コーナー
16:00	15:20-16:05 ③諏訪神社(萩生)	15:20-16:05 ③諏訪神社(萩生)	10:00-12:00 消防団コーナー
17:00	16:15-17:00 ④小白川神社	16:15-17:00 ④小白川神社	10:00-12:00 消防団コーナー
18:00	17:20-17:40 高円寺阿波おどり	17:45-18:00 WA踊りセレモニー	10:00-12:00 消防団コーナー
19:00	18:40-19:00 高円寺阿波おどり教室	18:00-18:40 めざみの里WA踊り	10:00-12:00 消防団コーナー
20:00	19:05-19:20 艶YA沙ダンス	19:30-20:00 打上花火	10:00-12:00 消防団コーナー

※このスケジュールは今後変更になる可能性があります。

高円寺と飯豊町の軌跡

平成16年に山形おきたま農業協同組合飯豊地区青年部が東京都内の小学校で稻作体験出前授業を企画し、それ以降年間数校で出前授業を開催してきました。その学校の一つ、杉並区立第四小学校の元PTA会長が高円寺純情商店街の専務理事を務める吉田善博さんでした。平成25年2月、吉田専務は高円寺純情商店街を表現するようなブランド商品を、飯豊町の物産を使用して開発してもらえるよう青年部に依頼したことでの繋がりを持ちました。このような町民と東京都民の交流がきっかけとなり、平成26年11月に高円寺にアンテナショップが誕生することになりました。

そこから交流は加速し、最近では令和3年度に「飯豊町旬菜×高円寺ハーヴェスト」、令和4年度に「高円寺ハーヴェストin屋台村いいでら」、令和5年度に「飯豊食材を使った料理教室」を町内で開催し、高円寺の方々が来町されました。また、高円寺に町職員が出向いて飯豊産の食材を販売したり、昨年度は飯豊中学校2年生が修学旅行で高円寺学園を訪れたりと、飯豊町からも高円寺に足を運び、双方の交流が現在も活発に行われています。

山形県飯豊町アンテナショップIIDE(東京都杉並区高円寺北2丁目7-6)
販売物:飯豊産の米、おにぎり、弁当、酒、菓子、加工品等



(高円寺阿波おどり連協会所属)

夏を彩るレモンイエロー

天狗連は昭和40年8月に独立連として東京高円寺にて本格的に活動を開始しました。昭和46年には本場徳島の平和連と姉妹連を結び、平成27年には天狗連結成50周年記念式典を平和連とともに祝うことができました。現在は約130名の連員数になり、昭和、平成、令和育ちが一つになって楽しく踊ります。来年は結成60周年の記念の年です。今後一層パワーアップしていく天狗連是非ご注目ください。



- 獅子舞共演会 各神社紹介 -

諏訪神社(萩生)

例祭日
前大夜祭
8月17日



天正時代、木村越中の頭と申人が信濃国より神靈を負い、萩生の地に諏訪小社を建立した。享保年中、後藤勘右門地内より神靈石尊を発見納め奉る。天保3年、正一位諏訪大明神を拝請。獅子頭を新調、村民あげて祭りを継続し、昭和44年NHK「ふるさとの歌まつり」長井会場で萩生諏訪神社の荒獅子祭として参加し、全国に放映されました。昭和60年、諏訪神社前夜祭神輿渡御行列が町の無形文化財の指定を受け、現在に至る。

涌沼神社(椿)

例祭日
前大夜祭
8月18日



奥州の鎮守府将軍清原武則公が非常に尊崇した神で、その後置賜地頭領主であった長井時広公からも深く尊崇され、下長井四十四郷、小国三万石の総鎮守として安堵された。遠国まで名の通っていた有名な神社(涌沼大明神)で琵琶法師伝説が今なお残り、御仲徳は高く、武威鎮護、五穀成就に加護を垂れさせ給う永遠に尊い神である。明治期に村社となり、現在に至る。

小白川神社

例祭日
前大夜祭
8月17日(本祭)



約900年前、延久3年に三重県、伊勢二見ヶ浦の猿田彦神社の御分霊を勧請し、小白川地区西側の大天伯山に祀ったと伝えられている。昭和35年同地区東側にあった一ノ宮神社と合祀し、小白川神社に改称した。五穀豊穣、無病息災、商売繁盛の神様として祀られている。

八幡神社(手ノ子)

例祭日
前大夜祭
9月15日



天喜5年、源義家が安部貞任追討の時、大館山に先陣を張り、山頂に祠を建て八幡大菩薩を祀り、戦勝を祈願したと伝えられる。元禄16年、祠を八幡山に移し、社殿を再建し、弓矢八幡の御神体を京都より勧請した。昭和12年に郷社に列せられ、昭和13年に稻荷神社を合祀した。獅子の振りは長井市宮の総宮神社から習ったと言われている。